

工学院，物質理工学院及び環境・社会理工学院合同
 学生国際交流プログラム募集要項
 2026 年度第 2 回（渡航開始 2026 年 12 月～）

【プログラム概要】

「工・物・環合同学生国際交流プログラム」は、工学院、物質理工学院及び環境・社会理工学院（以下「3 学院」という）の大学院課程学生のための研究留学プログラムです。本プログラムでは、工学院、物質理工学院及び環境・社会理工学院が合同で協定を締結した 3 学院協定校及び 3 学院の部局間協定校、全学協定校、3 学院が必要と認めた大学へ留学を支援します。学生はホスト機関の研究室に派遣され、研究を行います。

このような経験は、将来のグローバルな研究者に必要な研究分野でのスキルや相互理解を深めるのに役立つと考えており、将来グローバルに活躍したいと考えている修士課程学生・博士課程学生の方はぜひご応募ください。審査により選抜された学生には **留学（派遣）経費の一部が支援**されます。

1. 募集プログラム

| プログラム名等 | 派遣校 |
|----------------------|---|
| SERP (C1) | ケンブリッジ大学※／オックスフォード大学／ウォーリック大学／エコール・ポリテクニク／ソルボンヌ大学／マドリッド工科大学／アーヘン工科大学／ Wisconsin 大学マディソン校／カールスタッド大学／バスク大学／ローマ・トルヴェルガタ大学／トリノ工科大学 * グレーの大学については今回募集の対象外 |
| AOTULE (C2-a) | メルボルン大学／清華大学／国立台湾大学／香港科技大学／バンドン工科大学／韓国高等科学技術院／マラヤ大学／インド工科大学マドラス校／ハノイ工科大学／南洋理工大学／チュラ-ロンコン大学／モラトゥア大学 |
| AOSU (C2-b) | 武漢理工大学／国立成功大学（台湾）／タマサート大学／シンガポール工科・デザイン大学／国立台湾科技大学／チエンマイ大学 |
| 工・物・環学院部局間協定交流（C3-a） | 3 学院と部局間協定を結んでいる大学 |
| 全学協定交流（C3-b） | 全学協定を結んでいる大学 *まず派遣交換留学プログラムへの応募をご検討下さい。 *留学先大学での身分が派遣交換留学生(Exchange Student)の場合は全学の派遣交換留学プログラムに応募し合格する必要があります。 |
| その他協定交流（C4） | その他 3 学院が特に必要と認めた大学・機関等との交流 |

2. 渡航開始

2026 年 12 月～2027 年 5 月

- 募集期間・派遣期間等につきましては本プログラム派遣募集のお知らせページの「工・物・環合同学生国際交流プログラム年間スケジュール」をご参照ください。
- 2026 年 10～11 月の渡航開始についても採択決定後ノミネーション期限に間に合う協定校の場合は応募可能です。ノミネーション期限は本プログラム派遣募集のお知らせページの「協定校受入要件」でご確認ください。

3) 留学期間は3か月程度を基本とする（具体的な日程は受入研究室の定めるところとする）。

※60日未満は応募不可

※3か月を超える留学の場合は、必ず事前に希望派遣先受入教員の内諾を応募時までに行っていること。

また、別途3か月以上の留学である必要について、理由書を応募時に追加で提出すること。但し、原則として6か月間を上限とする。

※留学の開始、終了日については受入研究室と調整の上決定されますが、プログラム採択後の留学期間の大幅な変更は認められず、変更を希望する場合は再応募していただく可能性があります。

4) 協定校によって要件が異なる場合があるので、本プログラム派遣募集のお知らせページに掲載の「協定校受入要件」を参照してください。

* 本プログラム派遣募集のお知らせページに掲載の「協定校受入要件」のAOTULE協定校・AOSU協定校につきましてはより柔軟に対応可能な場合もありますので詳細は応募前に国際交流支援チームへお問い合わせください。

3. 派遣費用

審査の結果により奨学金を支給します。

1) 奨学金は留学経費の一部として、渡航先国・地域毎に異なる金額を支給します。

月額支給額の目安は下記の通り。

<https://science-tokyo.box.com/s/e03ylxrd9z878qzlp0mlb5ft40xp0tfh>

学内育成プログラムなど（人材育成プログラムやフェロシップ等）他からの奨学金がある場合は金額を調整する可能性があります。

2) 留学経費として外部奨学金への応募もお勧めいたします。その際は応募状況を申請用紙にご記載ください。

併給不可の奨学金もありますのでご自身でご確認下さい。

3) トビタテ！留学JAPAN、TAZAKI財団奨学金等に採択された場合、本プログラムからの支給はしません（併給不可）。

4) 研究機材・施設利用料・ビザ取得費用等が発生しても、別途支給はしません。

4. 応募要件

1) 原則2026年4月1日時点で工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院の

正規修士課程・博士後期課程学生

注1) 社会人学生は対象外。

注2) 学士課程学生の応募は、応募時に大学院入試に合格している場合のみ受け付ける。

(派遣時に修士課程に在籍していること)

注3) Science Tokyo 研究室との共同研究、自身の学位論文研究のための留学、講義の単位取得のみを主目的とする留学、学内プロジェクト（Science Tokyo SPRING & BOOST、TAC-MI など）の要件を満たすための留学、および博士後期課程のオフキャンパスなどの単位取得を目的とした留学は対象外。

注4) 3年半で早期卒業する学生については、各学院・系が定める規定により認めた場合に限り出願を認める。

注5) 母国への留学を予定している者は対象外。

2) 選考時前年度の成績評価係数（補足1参照）が2.30以上であること。

3) TOEFL (iBT) 70点 または TOEIC 650点相当以上。ただし現地語ができるなど特別な理由がある場合には、理由書（様式任意）を添えて申請のこと。

5. 応募書類締め切り

2026年5月29日（金）正午 *締切厳守

注）期日後は理由の如何にかかわらず受理できません。

6. 面接日

2026年6月12日（金）午後（使用言語：英語）

- 1) 応募者多数の場合は、提出された申請書に基づき、事前に書類審査を行います。
- 2) 詳細は、書類審査通過者にのみ、面接前日までにお知らせします。
- 3) 正当な理由による場合、応募申請時のみ、面接希望時間帯の申し立てを受け付けます。
- 4) 書類提出および面接は、外的要因による理由であっても原則特別措置はできないため、余裕を持ったスケジュール、徹底した体調管理の下で応募してください。

7. 応募方法・必要書類

応募データ入力フォームにより入力【URL: <https://forms.cloud.microsoft/r/3CLLSuEBGB>】

上記の Microsoft Forms リンクから応募フォームにアクセスし、必要情報を入力してご応募ください。

Science Tokyo Portal から Microsoft365 へのログインが必要となります。

<https://science-tokyo.app.box.com/s/xpjmfm3gmiayeonna2kvbgxqh3ws33b>

<添付が必要な書類（入力フォーム内で所定の箇所にアップロードしてください）>

① 応募申請書（様式 1）：応募者情報、応募理由、研究計画等記載

② 推薦書（様式 2）

* 上記①②については必ず所定の様式（1 および 2）を用いること。

様式は本プログラム派遣募集の HP からダウンロードできます。

③ 英文履歴書（様式任意）

④ 語学要件証明書コピー（英語試験スコア）

注 1）本プログラム応募に際しての語学要件は、各派遣先大学が設定する留学受入れの語学要件とは異なります。

別途、事前に派遣希望先大学で求められる語学要件を確認し、必要に応じ取得してください。

注 2）(C1) (C2)については、各大学の受入要件（協定校受入要件）を参照してください。

注 3）応募締め切り後のスコアの追加・差替提出を希望する場合は、入手後すぐに国際交流支援チームへ提出ください。

⑤ 学業成績証明書

注 1）和文および英文の両方

注 2）前年度の成績が必ず含まれているもの。和文のみ前年度の履修科目にマークをつけてください。

注 3）前年度、他大学に在籍していた場合は、時間に余裕をもって取り寄せてください。

⑥ 理由書（様式任意） ※該当者は次のいずれか

A) (C3-b) において、派遣交換留学プログラムに応募できない場合、および不採択の場合

*協定校における受入身分を確認の上、記載すること。**留学先大学での身分が派遣交換留学生(Exchange Student)の場合は全学の派遣交換留学プログラムに応募し合格する必要があります。**

B) (C4) 応募者すべて（応募者、および指導教員または系主任・コース主任が作成のこと）

C) 3 か月を超える留学期間を希望する場合

⑦ 受入内諾を示す書類（Email 等） ※該当者のみ

A) (C3) および (C4) 応募者すべて

B) (C1) および (C2) 応募者で既に内諾を得ている場合

C) 3 か月を超える留学期間を希望する場合

- * 記入誤りや提出書類の不備がある場合は受理できません。各自で確認の上、提出してください。
- * 提出応募書類一式は採択の可否の判断にのみ利用し、返却いたしません。
- * 学内の国際関係部署にメールアドレスなどを提供することがあります。
- * 語学要件以外に各協定校が指定する提出物がある場合、派遣採択決定後に国際交流支援チームが指定する日時までに提出してください。

8. 採択通知

学内選考後 1 週間を目途に、応募者本人および指導教員へ選考結果を通知します。

個別の選考結果に関する問い合わせには回答できません。

- * なお、最終的な受入の可否は派遣先大学により決定されるため、本プログラムに採択され、推薦された場合でも派遣先大学側の選考や個別に設定する要件により受入が認められない場合もあります。

9. 問い合わせ先／書類提出先：

国際交流支援チーム（本館 2 階 256 室）

学内便：H-106 TEL: 3859 e-mail: ko.intl@adm.isct.ac.jp

補足 1：成績要件

プログラム（C1）から（C4）の大学への派遣を希望する学生は、前年度の成績を元に以下の計算式に従って係数を算出し、申請用紙に記載してください。選考時前年度の成績評価係数が 2.30 以上であることが応募条件となります。

（C1）（C2）は、協定校によって要件が異なる場合があるので、協定校受入要件を参照してください。

成績評価係数の算出方法

| 4段階評価(パターン1) | 成績評価 | | | | |
|---|---------|--------|--------|--------|-------|
| | 優 | 良 | 可 | 不可 | |
| 4段階評価(パターン2) | A | B | C | F | |
| 4段階評価(パターン3) | 100～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59点以下 | |
| 5段階評価(パターン4) | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59点以下 |
| 5段階評価(パターン5) | S | A | B | C | F |
| 5段階評価(パターン6) | A | B | C | D | F |
| 成績評価ポイント | 3 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| $\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$ | | | | | |

補足 2：協定校側が指定する派遣要件（2026 年 3 月現在）

注 1）（C1）（C2）は、本プログラム派遣募集の HP に掲載の「協定校受入要件」を確認の上、応募してください。

注 2）新たな要件が追加されることがあるため、随時および申請書提出前に、必ず最新の要件を確認してください。

補足 3：留学報告会

本プログラムに採択された学生は、帰国後留学報告会で発表をしていただきます。

補足 4：国際経験実践アドバンスト

本プログラムに採択された学生は原則として国際経験実践アドバンストを履修し、留学報告会で発表後、合格の場合は単位（4 単位）が認定されます。詳細` <https://science-tokyo.box.com/s/gsosnu4itda27qicr33agz1fj3q2ihkp> 各系・コースの留学関係科目を履修することも可能ですが、その場合は本科目と重複しての単位認定は認められません。

補足 5：外部留学奨学金

留学経費として外部留学奨学金への応募もお勧めいたします。その際は応募状況を申請用紙にご記載ください。
奨学金によっては併給不可の奨学金もありますのでご自身でご確認をお願いいたします。

補足 6：よくある質問

本プログラム派遣募集の HP に掲載の「よくある質問」に過去の学生からの質問に対する答えを載せています。応募前に必ず参照してください。

補足 7：関連リンク

- ・ [工・物・環合同学生国際交流プログラム](#)
- ・ [派遣交換留学プログラム](#)
- ・ [留学奨学金](#)